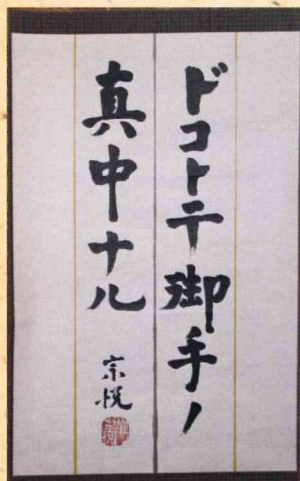




柳宗悦(中列左から三人目)、芹沢銈介(前列左から二人目)、と角館の名士たち
(1944年 旧田沢湖町羽根ヶ台にて)



「白樺」河本龜之介編／洛陽堂
大正2年(1913年)



軸装「ドクトテ御手ノ真中ナル」
柳宗悦自筆書

角館と民藝

民藝の創始者柳宗悦の著書の展示とともに、
樺細工伝習会を機縁に角館を訪れた人や
ゆかりの人々の事績を紹介し、
近代日本の普適的思想といわれる
「民藝」の多様性を探ります。

会期／令和5年 **9.1** [金] ~ **11.19** [日]

開館時間／午前9時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

休館日／毎週月曜日

観覧料／大人(高校生以上)500円、小中学生300円 ※団体割引あり、仙北市民無料

主催／仙北市 仙北市教育委員会

後援／日本民藝協会

企画協力／海青舎

新潮社記念文学館

〒014-0311 秋田県仙北市角館町田町上丁23
Tel.0187-43-3333 ※仙北市学習資料館共通

角館と民藝

明治43年(1910年)、文芸誌『白樺』の創刊とともに、のちに民藝運動と呼ばれる活動が始まりました。リーダーの柳宗悦は昭和9年(1934年)に日本民藝協会を設立し、昭和11年(1936年)に日本民藝館が開館すると、ここを拠点とした活動は全国に展開されました。

角館では昭和17年(1942年)から3年間、日本民藝館と当地において「樺細工伝習会」が行われ、作り手と膝を交えた柳や芹沢銈介らの指導は樺細工を正統の工藝へ導き、今日まで八十年にわたる角館と民藝の縁を結びました。

本展では柳宗悦の著書の展示とともに、樺細工伝習会を機縁に角館を訪れた人やゆかりの人々の事績を紹介し、近代日本の普遍的思想といわれる「民藝」の多様性を探ります。



柳宗悦【やなぎ・むねよし】

(1889~1961) 宗教哲学者。民藝の創始者。文芸雑誌『白樺』創刊に参加。昭和9年角館初来町。昭和17年北方文化連盟(臺木友治)主催の冬期講習会で「手工芸概論」を講義。晩年は仏教思想に基づく仏教美学を提唱。昭和37年文化功労者。(写真提供 日本民藝館)

新潮社創業者 佐藤義亮 生誕の地 秋田角館

Giryo Sato
1878-1951



新潮社記念文学館

Shincho-sha Memorial Museum of Literature

〒014-0311 秋田県仙北市角館町田町上丁23
Tel.0187-43-3333 ※仙北市学習資料館共通
www.city.semboku.akita.jp/sightseeing/bungakukan/



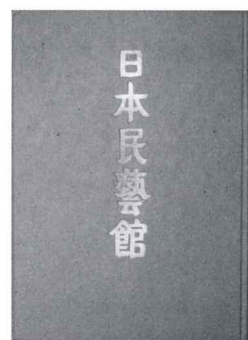
JR角館駅・秋田内陸縦貫鉄道角館駅から徒歩10分
駐車約30台



手仕事の日本／柳宗悦
靖文社／昭23(1948)



美の法門／柳宗悦
私版本／昭24(1949)



日本民藝館／柳宗悦
日本民藝館／昭29(1954)



民藝四十年／柳宗悦
宝文館／昭33(1958)



愛する人達／川端康成
新潮社／昭16(1941)
芹沢銈介装丁



箱根山／獅子文六
新潮社／昭37(1962)
芹沢銈介装丁